



太鼓の力を、社会の力へ。

私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、
多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」を目指します。

鼓童文化財団設立25周年

鼓童文化財団のあゆみ

- 1994年 — 第一回設立準備委員会開催
1996年 — 柿野浦(旧両津市)に研修所を移転
1997年 — 「財団法人鼓童文化財団」設立と研修所2年制始動を祝う会を開催①
1998年 — 「エジンバラ・フェスティバル・フリンジ」に文弥人形と鼓童小編成で参加
1999年 — 第2回北米太鼓カンファレンスで、三宅島の太鼓を紹介
2000年 — 三宅島噴火で全島民が避難。三宅島募金を呼びかけ
2001年 — 三宅島募金を活用して、三宅島から避難している島民の皆さんに佐渡産のお米を贈呈②
2002年 — アース・セレブレーション(EC)の企画として、フォーラム「佐渡の森は蘇るか?」を開催
2003年 — 地域循環型家具「アースファニチャー」本格稼働③
鼓童叢書『佐渡のたらい舟—職人の技法』を出版④
2004年 — ECでアースファニチャーの学校用机と家庭用家具を展示。また、東京・カタログハウスでセミナーを開催
2005年 — 第5回北米太鼓カンファレンスで佐渡の鬼太鼓を紹介
2006年 — 鼓童結成25周年。文京区、文京アカデミーとの提携を開始
地元の方々のお力添えにより、研修所体育館(稽古場)の屋根瓦を葺き替え
2007年 — 宮本常一生誕100年を記念する各種企画や公演に参加
佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)の委託運営を開始⑤
2008年 — ECが第12回ふるさとイベント大賞(総務大臣表彰)を受賞
2009年 — ECが第2回ティファニー財団賞「伝統文化大賞」を受賞
2010年 — 廃校の再利用を通じて、地域社会の活性化を地元住民と共に模索する「廃校プロジェクト」(トヨタ財団助成事業)に参加
2011年 — 東日本大震災の復興支援活動として「ハートビート・プロジェクト」を始動
鼓童結成30周年を記念し『いのちもやして、たたけよ。』を出版⑥
公益財団法人化
2012年 — 鼓童初の佐渡島内連続公演として「鼓童佐渡特別公演」開始⑦
2013年 — ハートビートプロジェクトの一環として、ECの特別フリンジに福島県いわき市のじゃんがら念佛を招聘⑧
2014年 — 深浦学舎開設。鼓童文化財団研修所「地域づくりコース」試行第1期として実習生2名を受け入れ⑨
「エクサドン」の取り組み開始
2015年 — 名誉団員4名による「鼓童塾～深浦学舎篇～」を開催
2016年 — 鼓童創立35周年
「お風呂募金」の呼びかけを行い、研修所の浴室を改修⑩
2017年 — たたこう館開館10周年、財団設立20周年、EC第30回目の開催
研修所制度が始まって以来初の「研修所同窓会」を開催
佐渡と東京で「日本海大学セッション」、「日本海大学セミナー」を開催
2018年 — たたこう館が佐渡市の指定管理から財団の直営となる
文化庁の「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」の委託を受け、エクサドン研究会の開催、実証研究等を行う⑪
2019年 — エクサドンファシリテーター養成プログラム「基礎コース」を開催
2020年 — コロナ禍で様々な事業が中止・延期となる中、動画配信やオンラインでの対談、セミナー、交流会等を実施⑫
2021年 — オンラインでの太鼓レッスン「鼓童 太鼓の学校」を開設
たたこう館内にT's Cafeオープン
2022年 — たたこう館開館15周年



歴代理事長よりご挨拶

山口 幹文 (やまぐち もとふみ) 1997年より2003年まで理事長

太鼓には不思議な力があり、時にはその響きが人生を一変させることさえあります。かくいう私がその一人で、LP音源であったにも関わらず、今でもその時の衝撃を忘れることが出来ません。自分たちの体験を通して、また歴史的にも太鼓は人と人を結ぶ力が備わっています。財団設立の動因は、この力を舞台表現だけではなく社会のために生かそうということがありました。

当時の私たちは何事も手探りで、稽古の合間を縫っては将来の夢や社会との関わりといったことを語り合う日々が続きました。そのような中で多くの方々の助言と協力により、1997年に自分たちの夢が財団という形になって生まれました。このことによって数々の非営利的な活動が持続可能となり、鼓童の存在意義がより広く深くなつたといえます。

どのような時代にあっても「暮らす」「学ぶ」「作る」という鼓童設立当初に掲げた理念を大切にし、これからも価値ある活動が続くことを願っております。

1997年より2003年まで理事長、2004年より2012年まで副理事長。
1980年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座。1981年「鼓童」創設メンバー。2012年「鼓童名誉団員」となる。
笛を独学にて習得し、確固たる笛の表現を確立。
1992年より2003年まで青木孝夫、大井良明とともに、鼓童3代表制の中で舞台局の代表を務めた。



島崎 信 (しまざき まこと) 2004年より2016年まで理事長

本年、公益財団法人鼓童文化財団は設立25周年を迎えることが出来ました。25年の活動にご教示、ご支援を下さいました皆様に、心から感謝と御礼を申し上げます。

創立40周年を迎えた鼓童の、太鼓芸能の伝承、創造を主軸とする活動に加えて、より社会的な拡がりと深みを持つ関わりを目的として、財団はその活動を重ねて参りました。

財団は他の芸能集団には例をみない、研修所、太鼓体験交流館、深浦学舎等の運営に加えて、教育、出版などの活動も行って参りました。

「旧きを尋ね、新しきを求め、未来を創る」その活動を設立25周年を機に、心新たに、次なる25年へ努力するよう願っております。皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。

1997年より2003年まで副理事長、2004年より2016年まで理事長、2017年より特別顧問。
1932年東京生まれ。武蔵野美術大学名誉教授。公益財団法人文京アカデミー理事。
国際的なモダンシア研究者で北欧建築・デザイン協会理事、日本・フィンランドデザイン協会理事長。
佐渡産材を用いた「アースファニチャー」のデザイン・開発にも関わる。
鼓童の前身「佐渡の國鬼太鼓座」創設のきっかけとなった「おんでこ座夏期学校」で講師を務め、以来、現在に至るまで相談役として鼓童を見守り続けている。



五十嵐 実 (いからしのみのる) 2017年より理事長

鼓童文化財団が設立されて25年を迎えました。ご支援いただいた皆様に心から御礼申し上げます。財団の意義を考えると「くらす まなぶ つくる」と言う理念のもと、鼓童を支える人材の育成、佐渡の地域おこし、芸能文化の振興、国際交流が活動の4本柱にあります。

時代の流れは大きく変化し、コロナ、戦争、環境問題の深刻化など新たな危機が世を覆っています。この4本柱を新たな世界再生の為に再創造、リジェネレーションしていくことが私たちに求められています。

今こそ、芸能の本質である人と人、人と自然を紡ぎ直していく為これからも精進してまいります。



2005年より2012年まで評議員、2013年より2016年まで副理事長、2017年より理事長。
税理士、日本自然環境専門学校校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事、(一社)五頭自然学校理事長、新潟NPO協会理事。
人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していきたいとの思いから、「組織開発」「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。

2021年度

活動トピックス

たたこう館「T's cafe」オープン

2021年は修学旅行生にランチ提供や、週末にイベント、レンタルカフェなど、対象者や期間を限定しての営業となりましたが、多くの方に利用していただきました。

修学旅行生の中には10分程で完食してしまう生徒もいて、美味しそうに食べる姿が印象に残っています。太鼓体験で体を動かした後に栄養たっぷりな「ぶたばなちゃんカレー」を食べて、たたこう館での思い出をより深めることができたのでは、と思います。

また、一般のお客様にも、たたこう館らしさや鼓童で大切にしている栄養面を考えたランチメニューを提供し、とても好評でした。

今後も島内はもちろん、島外や海外のお客様にもご利用していただけるようイベントを企画していきます。佐渡へお越しの際はぜひ、自然に囲まれているたたこう館で太鼓体験をした後は、眺めのよいカフェでのんびり過ごしてはいかがでしょうか。



眺めの良いカフェでほっと一息

鼓童の会会員限定「オンライン交流イベント」



10月2日土曜日の昼下がり、鼓童の会オンライン交流イベントを行い、会員の方から16名の参加をいただきました。

鼓童側は、村の稽古場から舞台メンバー及びスタッフ(船橋、阿部、小野田、詫間、中谷、大井キヨ子、本間諒子)、たたこう館から講師陣及びスタッフ(宮崎、米谷、佐野、山中、本間康子)、研修所から舞台メンバー、スタッフ(地代、三浦、石原、赤澤)及び研修生全員での参加となりました。

それぞれ用意したお茶菓子を紹介したり、グループに分かれでゲームをしたり。画面越しではありませんが、身近に感じることができたという感想もいただき、会員の皆様の笑顔が嬉しいイベントでした。

SDGsワークショップ開催

6月にSDGsについて学ぶワークショップを行いました。「2030 SDGs」というカードゲームを用いたもので、認定ファシリテーターの斎藤紗織さんを講師にお招きし、メンバー、スタッフ17名が参加しました。

プロジェクトカードに書かれた条件をクリアしながら事業を実施し、経済・環境・社会に分かれた「世界の状況メーター」に、カードに書かれている数のマグネットをつけて状況を表していく。カードゲームを通して2030年の自分たちの世界がどうなっていくのかを体感し、なぜSDGsに取り組むことが必要か、理解を一步進めることができたように思います。



SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念として、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



世界の状況メーターで「ワン・アース」を目指す

決算

貸借対照表 2021年12月31日現在 (単位:円)

I 資産の部		
流動資産	現金および預金 売掛金 未収金 前払金 短期貸付金 立替金 仮払金 商品	12,833,692 13,125 8,882,170 0 15,998,680 0 401,793 172,368
	流動資産合計	38,301,828
固定資産	基本財産合計 特定資産合計 その他の固定資産合計 固定資産合計	90,703,334 77,128,623 19,742,621 187,574,578
	資産合計	225,876,406
II 負債の部		
流動負債	未払金 前受金 預り金 未払消費税等 流動負債合計	11,895,065 3,650,000 0 896,200 16,441,265
固定負債	長期借入金	38,250,000
	負債合計	54,691,265
III 正味財産の部		
	正味財産合計 負債及び正味財産合計	171,185,141 225,876,406

正味財産増減計算書 2021年1月1日から2021年12月31日まで (単位:円)

I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益	1. 基本財産運用益 2. 特定資産運用益 3. 受取会費 4. 事業収益 5. 受取補助金等 6. 鼓童の会収入 7. 受取寄付金 8. 雑収益	99,979 0 0 64,149,485 3,641,040 7,421,000 24,584,743 15,148,723 115,044,970
(2) 経常費用	1. 事業費 2. 管理費 経常費用計	78,678,857 35,236,534 113,915,391
	一般正味財産増減額	1,129,577
	一般正味財産期首残高	57,557,532
	一般正味財産期末残高	58,687,109
II 指定正味財産増減の部		
指定正味財産期首残高		116,139,072
指定正味財産期末残高		112,498,032
III 正味財産期末残高		171,185,141

ご支援いただいた皆様 (2021年1月1日～12月31日)

2021年は「ワン・アース・ツアー支援」や「アース・セレブレーションのクラウドファンディング」など、公演活動を支えるご支援を多くいただきました。深く感謝申し上げますとともに、掲載のご希望をいただいた方のお名前をご紹介させていただきます。(敬称略)

■ ご寄付 総額 24,584,743円

- (1) ワン・アース・ツアー支援(緊急支援を含む)(計7,869,602円)
200口 池永朝昭／100口 Soh Daiko／50口 永井久仁子、岡田恵理子、江村志穂、小野みき子／45口 榎本祐子／30口 岡崎実／10口 トーマス淳子、妹尾恵美子／10口未満及び匿名希望の方の合計 7,274,602円
- (2) 一般寄付(13,080,836円)
10,000口 堀口智顕／500口 島崎信／100口 本間達郎／50口 中野育正／30口 久保いずみ／20口 玉木敏、風間信二、野口朝子／12口 伊藤正依、東英子／10口 高山修二、新畠茂充、石井光義、竹下裕行、辻村清晴、田中悦子、富澤佳恵、平井泰彦、有南喜代美／10口未満及び匿名希望の方の合計 2,226,836円
- (3) 研修生育成支援(計1,081,000円)
36口 小澤宏之／30口 きらきらひかるArts JAPAN、石井和美／12口 亀山剛、野口忍／11口 kon／10口 井出一美、山川元広、天井美知代、平井泰彦、平野伸明、蓑輪永世／10口未満及び匿名希望の方の合計 890,000円
- (4) 永年賛助会
(7名：計2,100,000円)
- (5) キシャボン(リサイクル募金)
(130名以上の皆様より：計411,215円)
- (6) やまいもくん募金(たたこう館の募金箱へのご支援)
(計42,090円)

■ アース・セレブレーション2021クラウドファンディング(計2,455,475円)

50口 Seidokan Japan Center, Janelle You, 高田真由美、植木真紀子、大野昭人、池永朝昭、竹田京子、町田陽斗、渡辺智美／45口 Merle and Alan Okada／30口 高田大介／20口 Mark H Rooney、益田潤一、近藤美紀、幸和代、首藤祐己、小川日登美、小林敦、地代良純、鈴木伸二／15口 横山尚子、渡辺美千子／10口 Adam Weiner, Frances Gleeson, Marinda Chen, Masumi O'Brien, Mr Samuel Archer, Nachi Das, Qris Yamashita & C Komai Rhet, Sanford & Jennifer Ikeda, Virginia Chong, GZCS、カワカミリュウジ、さどやニッポン株式会社、ルーチェキッズクラブ、伊ヶ崎滉、井口益男、岡泉享祐、綱澤綾子、荒川いづみ、佐藤存子、時廣真吾、松本征之、川北真由美、浅嶋洋、村井英之、大高陽子、知花伸、池田清子、尾畠志保、福井智也・香里、本間美任、木村紀子、木村優月、門脇麻理、野上結美、京矢彩希、蓮CACAO CLUB、濱本なつき／10口未満及び匿名希望の方の合計 1,349,590円

■ インカインド(物によるご支援)

着物・雑貨(白井静雄)、ピエリモ(除菌消臭剤)(坂下弘)、木製ベンチ(川上工務店)など(昨年もお米などを沢山いただきました。ありがとうございました。)

■ 「鼓童の会」会員の皆様 (2021年1月1日～12月31日)

2021年に会費を受領した方985名／会費受領総額 7,421,000円
特別支援会(年会費10万円)藤井恭彦、小林敦ほか計10名／
支援会(年会費5万円)稻垣昭生、松村美代、大塚哲朗、渡部成江、望月文子、吉川峰子、松田友一ほか計18名／
後援会(年会費1万円・入会金1,000円)305名／友の会(年会費3,000円・入会金1,000円)797名／
永年賛助会(賛助会からの移行)7名

※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会(定員350名／賛助会費30万円)の会員情報を管理。

活動計画

太鼓の学校「エクサドンファシリテーター養成講座 2022」



今秋(10月頃～)2回目を開催予定

1月～3月にかけて全8回の講義を終え、15名の方が修了されました。
太鼓グループに所属している方、介護施設にお勤めの方、音楽療法士、教育機関にお勤めの方、太鼓未経験の方もいて、様々な方がそれぞれの想いで、受講してくださいました。受講生の方々の考え方や、それの方のこれまでの経験を共有することで、お互い学び合う事ができ、とても有意義な講座になりました。

目標は、この講座を修了後、「エクサドンファシリテーターとして、ご自身の作成したプログラムで太鼓のワークショップ(エクサドン)を行うこと」です。最終回ではお互いの考えたプログラムを共有し、質問や課題を皆さんと話し合いました。

このコロナ禍で、実際、大勢の人たちを集めて一緒に太鼓をたたくことは難しいかもしれません、世の中は常に動いています。時間は止まりません。今を幸せに生きたい、幸せに生きてもらいたい。そんな想いのいっぱい詰まったエクサドン。

今回繋がったご縁を大切に、今後もエクサドンを進化させていきたいと考えております。

アース・セレブレーション 2022

35回目という節目の年を迎える今年のアース・セレブレーション。新型コロナウイルスの影響にて2年連続でのオンライン開催となりましたが、対策を立てながら3年ぶりの有観客開催を目指し準備を進めています。

今年はより佐渡の方々や新潟県内の文化・芸能団体の皆様との協働を充実させ、新潟の魅力ある豊かな文化の発信を強化したいと考えています。

佐渡へ来島、来場いただく方と共に「祝祭の庭」を充実させると共に、世界へ向けて幅広く島の魅力を発信。来るべきインバウンド回復期を見越した新たな国際的文化フェスティバルのあり方を模索してまいります。

■アース・セレブレーション公式サイト www.earthcelebration.jp



本年は8月19～21日に開催

たたこう館まつり



2019年のたたこう館まつり

たたこう館は今年で開館15周年を迎えました。

毎年恒例となっている「たたこう館まつり」は、これまで様々なゲストをお呼びしたり、子ども達が楽しめる企画を行い、多くのお客様にお越しいただいておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、2年間開催できておりません。

今年こそはたたこう館まつりを開催し、皆様と一緒に15周年のお祝いができる事を願い企画を考えています。

■たたこう館ホームページ www.sadotaikein.jp

事業計画



鼓童文化財団は事業活動を通じて、SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)の達成に貢献していくと考えています。

実施事業

1. 人づくり(研修および体験学習を通じた担い手の育成)

- ① 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース
・一年次 4月～1月 約6名
・二年次 2月～1月 約2名

- ② 深浦学舎
・太鼓研修、企業研修などを始め、様々な方が滞在しながら学ぶ「場」としての深浦学舎の活用
・深浦学舎の体育館を地域の文化団体等に貸し出し

2. 地域おこし(地域資源を利用した地域活性化)

- ① たたこう館(佐渡太鼓体験交流館)の運営
・修学旅行生を中心とした太鼓体験
・カフェの開設に伴い、修学旅行の太鼓体験とセットで昼食を提供
・佐渡島民を対象にしたエクサドン講座、出張たたこう館事業などへのワークショップ講師派遣
・ヘルスツーリズム認証プログラムや企業研修等、提携事業の拡充

- ② 「鼓童 佐渡宿根木公演」を中心とした宿根木地区との連携
・開催期間:4月29日(金・祝)～5月7日(土)
宿根木集落における持続可能な集落運営を図るための組織づくりへの協力と連携

- ③ 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援
・一般社団法人佐渡観光交流機構
・佐渡國しま海道
・地域ESD活動推進拠点
・美佐渡会(みさとかい)
・深浦小学校校舎活用委員会
・鬼太鼓の森づくり協議会
・小木湊まちなみの輪

- ④ アースファニチャー事業
・「緑の少年団」によるベンチの製作

3. 芸術文化の振興(伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興)

- ① 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集
・深浦学舎に佐渡に関わる図書資料等の閲覧コーナーの設置
・資料整理(永六輔氏寄贈図書の目録作成等)

- ③ アウトリーチ活動
・研修生と島内中学生の交流学校公演
・オンラインレッスン「鼓童 太鼓の学校」

- ② 伝統文化・文化活動への支援
・佐渡の集落で継承されている芸能の支援
・鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問の支援

- ④ エクサドンの開発
認知症予防プログラムとして2014年より開発が始まった「エクサドン」。
2022年は、新たにオンラインでのファシリテーター養成講座を開講。
また、佐渡島内のエクサドン普及に努める。

4. 国際交流(国際的な文化交流の場づくりと実践)

- ① 國際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営
・開催期間:8月19日(金)～21日(日)
新型コロナウイルスの影響で2年連続でオンライン開催となったが、対策を立てながら3年ぶりの有観客開催を目指す。

5. 広報・ファンディング(広報活動・資金調達の強化)

- ① 発行物
・機関誌「鼓童」年4回発行(2、5、8、11月)
・「年次報告書」発行(5月)
・「鼓童文化財団の人材育成」パンフレット発行(11月)

- ④ 寄付のオンライン決済システムの定着化
・GOEN CRM(セールスマネージャーを利用した非営利団体向け顧客管理システム)の活用
・クラウドファンディングによる資金調達

- ② ウェブサイトの充実による個人寄付の強化
・鼓童文化財団サイト、エクサドンサイトの整理および充実
・たたこう館サイトのリニューアル

- ⑤ 鼓童の会の運営
・オンライン交流会の開催等

- ③ 企業との関係強化による法人寄付の強化
企業が取り組むSDGs(持続可能な開発目標)の活動と連携させるなど、企業との関係強化を図る

鼓童グループへのご支援をお願い申し上げます。

ご支援の方法

1. 「寄付」で応援する

鼓童サイト内の「ご支援お申込みフォーム」より、クレジットカード・銀行振込・郵便振替をご利用いただけます。
(銀行振込・郵便振替を選ばれた方には、口座情報をメールでご連絡いたします。) 鼓童を継続的にご支援いただける方は、
マンスリーサポーター(毎月の寄付)や、アニユアルサポーター(年一回の寄付)をお選びいただければ幸いです。
<https://kodo.secure.force.com/> またはQRコードよりアクセスをお願いいたします。



または郵便振替用紙をご利用の上、ご送金ください。

郵便振替口座[00690-9-25829(財)鼓童文化財団]

○ ワン・アース・ツアーアイテム

鼓童の公演活動を支えるご寄付となります。



○ 一般寄付

鼓童の舞台が「花」とすれば、「根」を張り
支えているのが、鼓童文化財団です。



○ 研修生育成支援

鼓童文化財団研修所の運営に対する
ご寄付です。



■ 税制上の優遇措置について

当財団への寄付金や「鼓童の会」の会費は、特定公益増進法人への支援金として、確定申告により所得税等の優遇措置の対象となります。寄付額の最大40%が税金から控除されます。新潟県内にお住まいの方は、個人住民税(個人県民税)の税額控除を受けることができます。他の地域の方は、お住まいの都道府県、市町村の税務課へお尋ねください。

■ 鼓童サイトにご支援いただいた皆様のお名前を掲載いたします。

ご支援いただいた方のお名前を、2021年から引き続き「鼓童創立40周年記念ロゴ」の中に
並べる形で掲載いたします。

○ 寄付お申し込みフォーム

「鼓童サイトへのお名前の掲載について」の項目で「承諾する」をお選びください。

○ 郵便振替用紙

通信欄に「鼓童サイトへ掲載を希望」とお書き添えください。

※10口以上の方は、来年発行の「年次報告書」への名義掲載についても、希望の有無をお選びください。



鼓童創立40周年

2. 「鼓童の会」に入会する

鼓童の活動に共感してくださる皆様と鼓童をつなぎ、活動を幅広く応援していただく会です。
会員の皆様には年4回発行の機関誌『季刊鼓童』をお届けするほか、年会費の額に応じた
特典をご提供いたします。「鼓童チケット予約サイト」よりご入会ください。

<https://piagettii.s2.e-get.jp/kodo/pe/>



3. 「鼓童グッズ」を買って応援する

鼓童の商品をお買い求めいただくことも、大きなご支援となります。「鼓童オンラインストア」からお買い求めください。 <http://store.kodo.or.jp/>

4. 「物品の提供」によるご支援

読み終えた本やCD、DVDなどをお持ちの方は、
ぜひ「古本募金きしゃぽん」へ。

研修生が稽古に使う「バチ材」購入の支援に
つながります。

<http://kishapon.com/kodo/>



5. SNSで応援

鼓童のSNS、YouTubeを「フォロー」「いいね」「シェア」して、
鼓童を応援してください!

YouTubeのチャンネル登録もぜひお願いします!



「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校長
専務理事	菅野敦司	
理事	佐藤敦子	高崎経済大学 准教授
理事	船橋裕一郎	太鼓芸能集団「鼓童」代表
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
監事	河内秀夫	税理士
監事	佐藤一行	(株)北前船 社外取締役／(有)音大工 監査役
評議員	青木孝夫	(株)北前船 取締役会長
評議員	浅野昭利	(財)浅野太鼓文化研究所 理事長
評議員	関原剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役会長
特別顧問	島崎信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれて運営いたしております。

● 太鼓芸能集団「鼓童」

太鼓を中心とした音楽芸能の創造、実演、教育などの活動を行います。

● 株式会社 北前船

太鼓芸能集団「鼓童」のマネジメント、公演等の企画、興行、鼓童商品の開発販売を行います。

● 有限会社 音大工

太鼓芸能集団「鼓童」および鼓童グループの著作権管理、映像音源メディアの企画制作を行います。

● 公益財団法人 鼓童文化財団

太鼓芸能集団「鼓童」が培った経験と佐渡の資源を活かし、広く社会に貢献できる活動を行います。

鼓童文化財団スタッフ

たたこう館：石崎亮治、佐野未佳、宮崎正美、山中津久美、米谷友宏

研修所：赤澤京、石原泰彦

鼓童村：上之山博文、高津万理、本間康子、大井キヨ子、村下阿実、長尾鈴恵、吉川正基